

岐阜大流域圈科学研究中心 小山 真紀准教授

大学はいま

しています。専門は災害科学ですが、特に、地域コミュニティにおける被害を減らすことと、その人を中心としたあらゆる事についての研究をしています。

対策に反映できる」とついた協力関係のありが重要です。そのような理由で、計画を作っていく」と方と、それを反映した私の研究も「困難家屋で、みんなのしつらえを軽減しよう」というからの救助活動について考える必要があります。

災害での「人の被害」減らす



「調べることで、救助歩手前くらいの所を大のための訓練をよりよしものにしていく」う。

「求められる防災人材センターでは、現場はどんな人で、育てる人・実践者と一緒にためのプログラムはどう考え進めるための仕

と岐阜大学が協働設置化も含みます。そのためには、研究結果だけではなく、被災を軽減すれば良いか考えよう。そしてそれを踏まえ、ひとつの組みもありますので、組織を作ります。

人の被害とは、災害による直接的な死傷だけでなく、災害後の生活環境の悪化などによる生活の質の低下に伴う心身の健康状況の悪化です。

私の所属は流域圈科学研究センターというところですが、岐阜県と岐阜大学が協働設置化も含みます。そのためには、研究結果だけではなく、被災を軽減すれば良いか考えよう。そしてそれを踏まえ、ひとつの組みもありますので、組織を作ります。

なく、実際の研究結果う」、また、「避難所が、できるだけ実際ののしつらえの理由に基づく対策に反映できる」とついた協力関係のありが重要です。

